

決算説明会資料

～2013年3月期 第2四半期～

説明会開催予定日
2012年11月2日(金)

日本ハム株式会社

目次

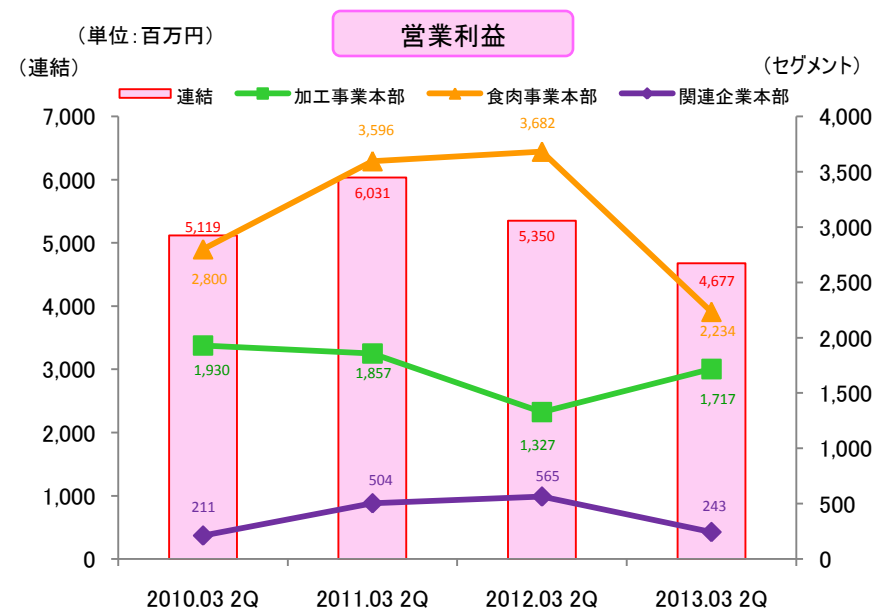
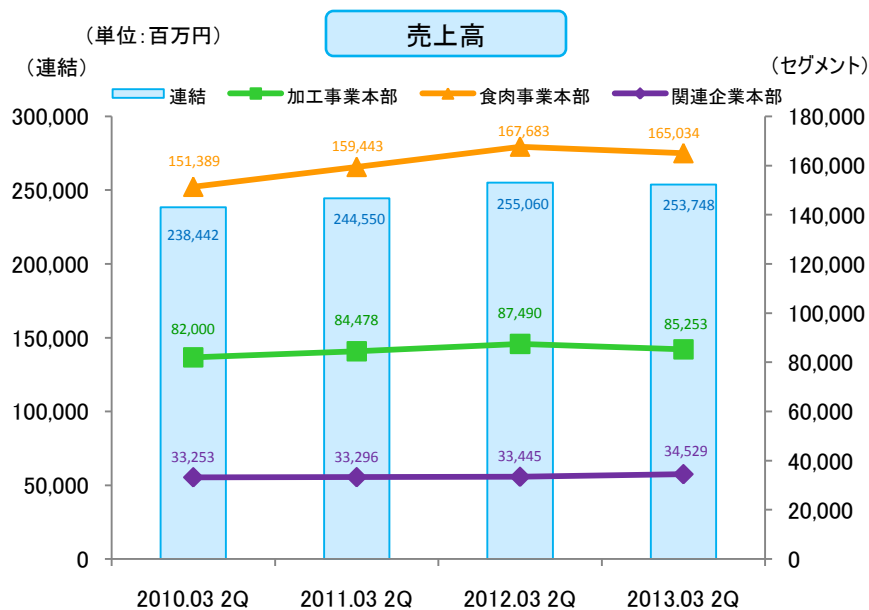
- I . 2013年3月期 第2四半期連結業績の総括
- II . 2013年3月期の計画
- III . 2013年3月期 第2四半期財務データ

I . 2013年3月期 第2四半期連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第2四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 上期累計
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別業績実績

(単位: 百万円)

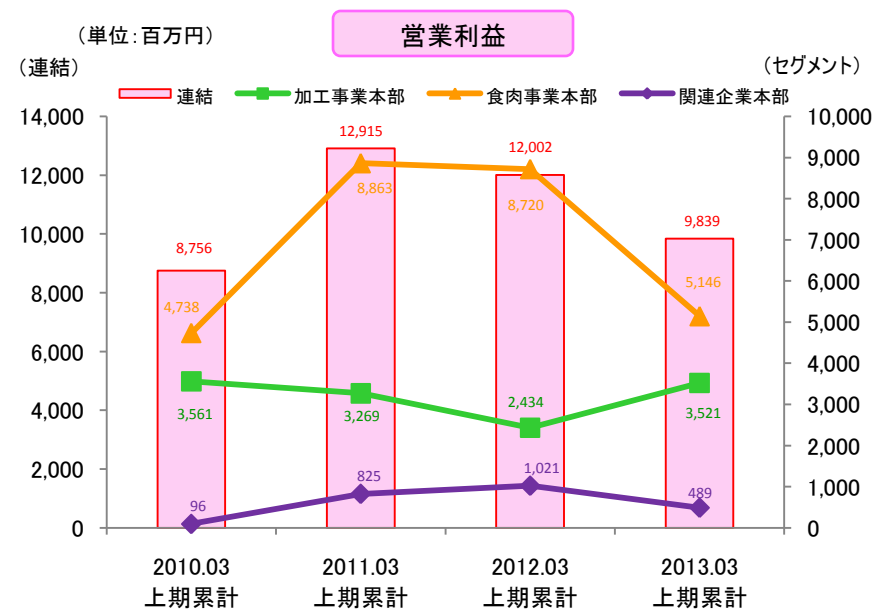
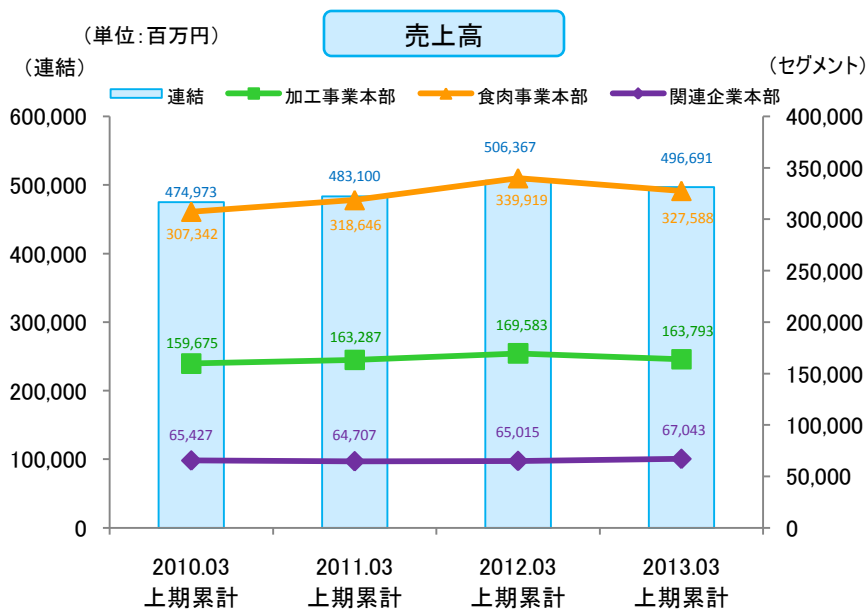
		2010.03 2Q	2011.03 2Q	2012.03 2Q	2013.03 2Q
加工事業本部	売上高	82,000	84,478	87,490	85,253
	営業利益	1,930	1,857	1,327	1,717
食肉事業本部	売上高	151,389	159,443	167,683	165,034
	営業利益	2,800	3,596	3,682	2,234
関連企業本部	売上高	33,253	33,296	33,445	34,529
	営業利益	211	504	565	243
消去調整他	売上高	△ 28,200	△ 32,667	△ 33,558	△ 31,068
	営業利益	178	74	△ 224	483
連結合計	売上高	238,442	244,550	255,060	253,748
	営業利益	5,119	6,031	5,350	4,677



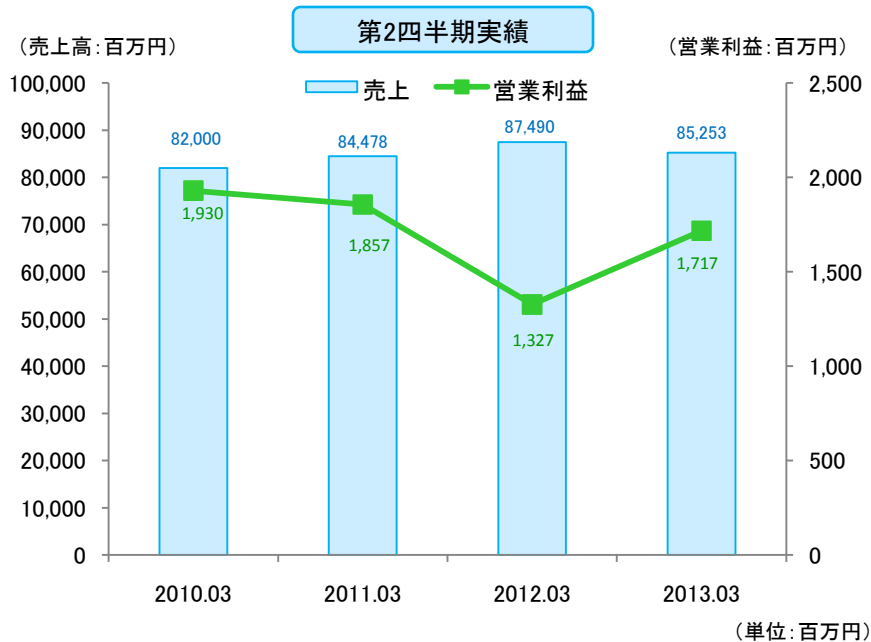
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P19の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

(単位: 百万円)

		2010.03 上期累計	2011.03 上期累計	2012.03 上期累計	2013.03 上期累計
加工事業本部	売上高	159,675	163,287	169,583	163,793
	営業利益	3,561	3,269	2,434	3,521
食肉事業本部	売上高	307,342	318,646	339,919	327,588
	営業利益	4,738	8,863	8,720	5,146
関連企業本部	売上高	65,427	64,707	65,015	67,043
	営業利益	96	825	1,021	489
消去調整他	売上高	△ 57,471	△ 63,540	△ 68,150	△ 61,733
	営業利益	361	△ 42	△ 173	683
連結合計	売上高	474,973	483,100	506,367	496,691
	営業利益	8,756	12,915	12,002	9,839



※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P19の品種別の売上高の数値とは一致しません。
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。
 ※過年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。



	2012.03 2Q	2013.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	87,490	85,253	△ 2,237	△ 2.6
営業利益	1,327	1,717	390	29.4
営業利益率	1.5%	2.0%	-	-

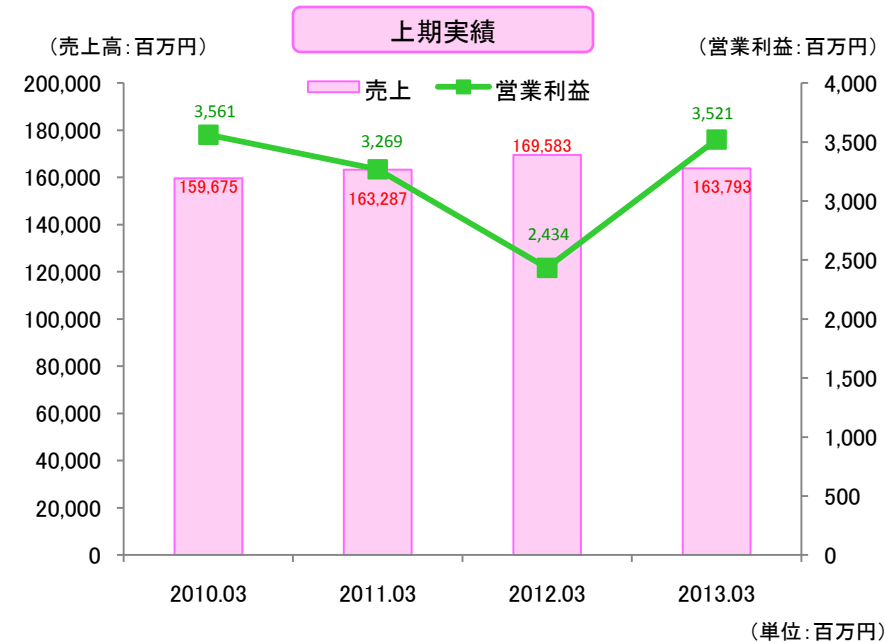
【第2四半期の状況】

(売上高)

・ハム・ソーセージ、加工食品ともにコンシューマ商品が数量伸長したが、加工食品の業務用商品が苦戦し、減収。

(営業利益)

・副原料(羊腸等)、燃料等の高騰を、コストダウン活動、SCM改革でカバーし、増益。



	2012.03 上期累計	2013.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	169,583	163,793	△ 5,790	△ 3.4
営業利益	2,434	3,521	1,087	44.7
営業利益率	1.4%	2.1%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

・ハム・ソーセージは販促を強化した『シャウエッセン』は好調に推移。加工食品のコンシューマ商品は第2四半期で数量伸長したが、業務用商品が苦戦し、減収。

(営業利益)

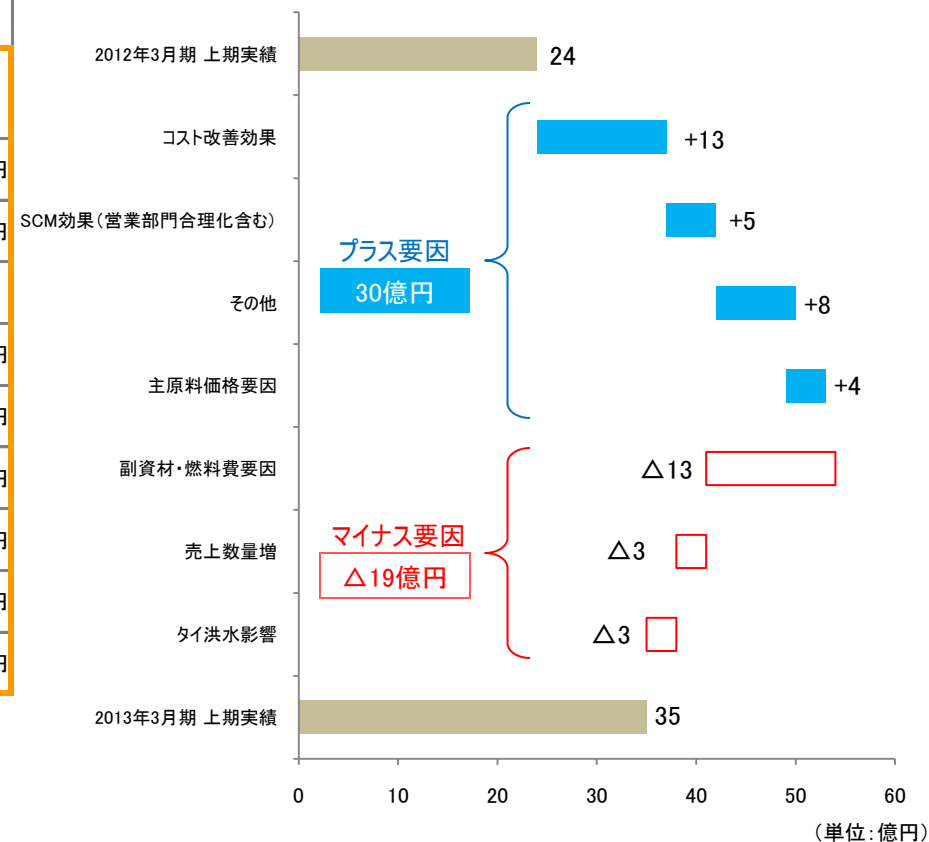
・コストダウン活動や店頭販促策の見直し等で増益。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 2Q 計画と実績				
	1Q 実績	2Q 実績	上期 計画	上期 実績	計画 差異
コスト改善効果	6億円	7億円	12億円	13億円	1億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	3億円	2億円	4億円	5億円	1億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	2億円	2億円	5億円	4億円	△1億円
(内訳)副資材・燃料等	△6億円	△7億円	△12億円	△13億円	△1億円
売上数量増	△2億円	△1億円	1億円	△3億円	△4億円
タイ洪水影響	△2億円	△1億円	△2億円	△3億円	△1億円
その他	6億円	2億円	8億円	8億円	0億円
合計	7億円	4億円	16億円	11億円	△6億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります

【上期累計実績の増減要因グラフ】



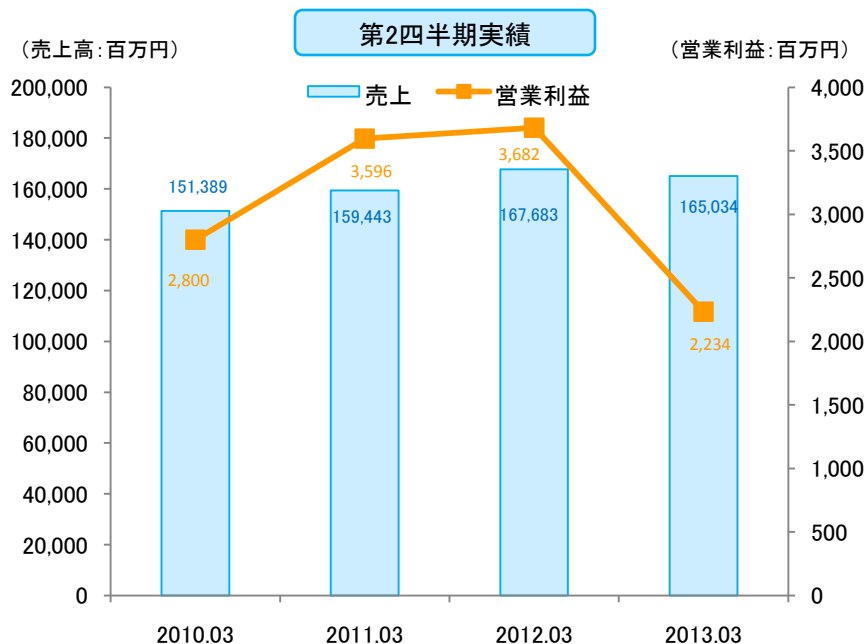
●差異要因分析(上期)

【売上数量増】

⇒ハム・ソーセージは数量伸長。加工食品は業務用商品の数量減で計画を下回った。

【コスト改善効果】

⇒コスト改善活動が計画通り進捗し、増益に貢献した。



(単位: 百万円)

	2012.03 2Q	2013.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	167,683	165,034	△ 2,649	△ 1.6
営業利益	3,682	2,234	△ 1,448	△ 39.3
営業利益率	2.2%	1.4%	-	-

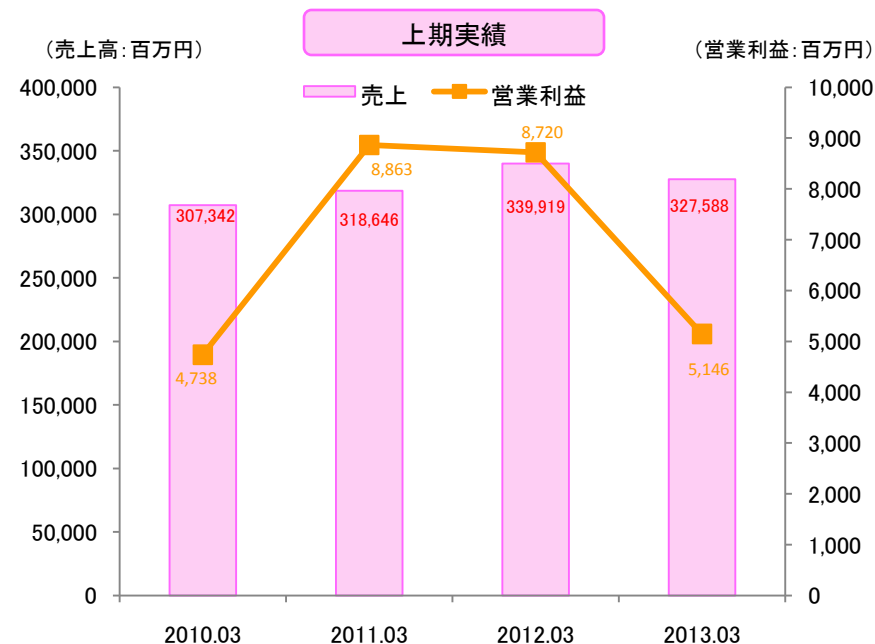
【第2四半期の状況】

(売上高)

- ・国産鶏肉の単価下落と、豪州牛肉の数量減少等により、減収。

(営業利益)

- ・国内生産は、豚、鶏の市況安で、減益。
- ・豪州事業は改善したが、米州事業が飼料高により、減益。



(単位: 百万円)

	2012.03 上期累計	2013.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	339,919	327,588	△ 12,331	△ 3.6
営業利益	8,720	5,146	△ 3,574	△ 41.0
営業利益率	2.6%	1.6%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

- ・国内相場の回復が遅れ、減収。

(営業利益)

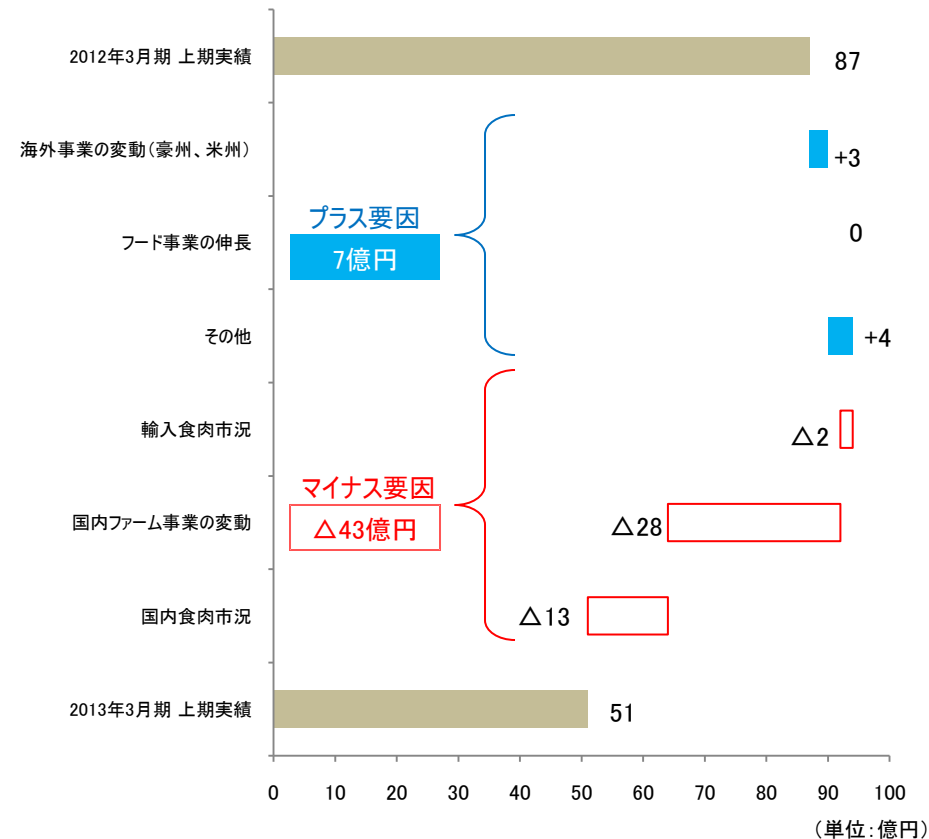
- ・国内相場の低迷により、特に生産事業(ファーム)において採算が悪化し、減益。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 上期 計画と実績				
	1Q 実績	2Q 実績	上期 計画	上期 実績	計画 差異
海外事業の変動(豪州、米州)	5億円	△2億円	9億円	3億円	△6億円
フード事業の伸長	△1億円	0億円	0億円	0億円	0億円
輸入食肉市況	△9億円	7億円	△4億円	△2億円	2億円
国内ファーム事業の変動	△14億円	△14億円	△24億円	△28億円	△4億円
国内食肉市況	△3億円	△10億円	△5億円	△13億円	△8億円
その他	0億円	4億円	1億円	4億円	3億円
合計	△21億円	△15億円	△23億円	△36億円	△14億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります

【上期累計実績の増減要因グラフ】



●差異要因分析(上期)

【国内ファーム事業の変動】

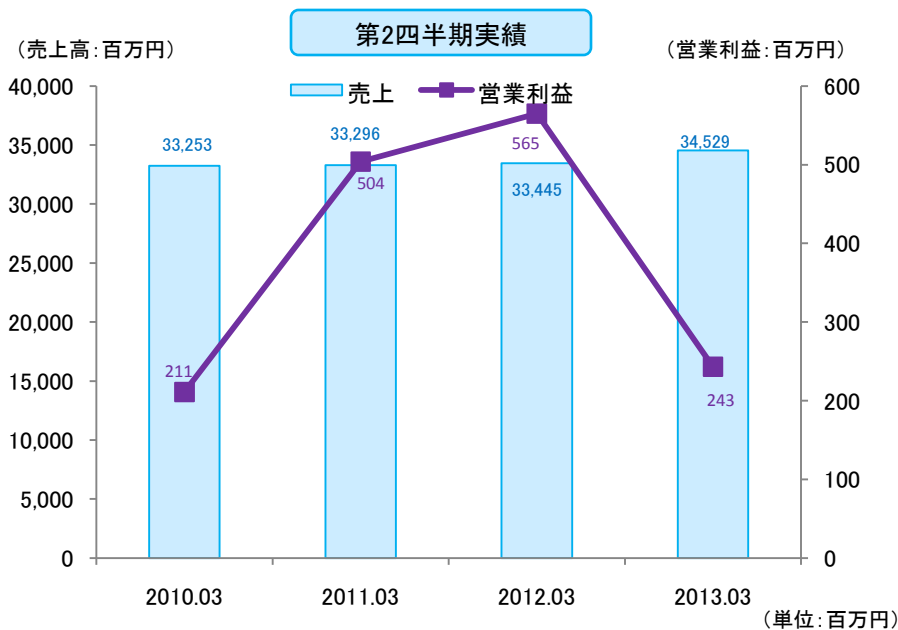
⇒国内鶏肉相場低迷が継続し、生産事業(ファーム)において収益を圧迫した。

【国内食肉市況】

⇒鶏、豚とも想定以上の相場安で収益は計画を下回った。

【海外事業の変動】

⇒豪州は対前年で収益改善、米州は飼料高の影響で収益悪化。



	2012.03 2Q	2013.03 2Q	前年差	前年比
売上高計	33,445	34,529	1,084	3.2
営業利益	565	243	△ 322	△ 57.0
営業利益率	1.7%	0.7%	-	-

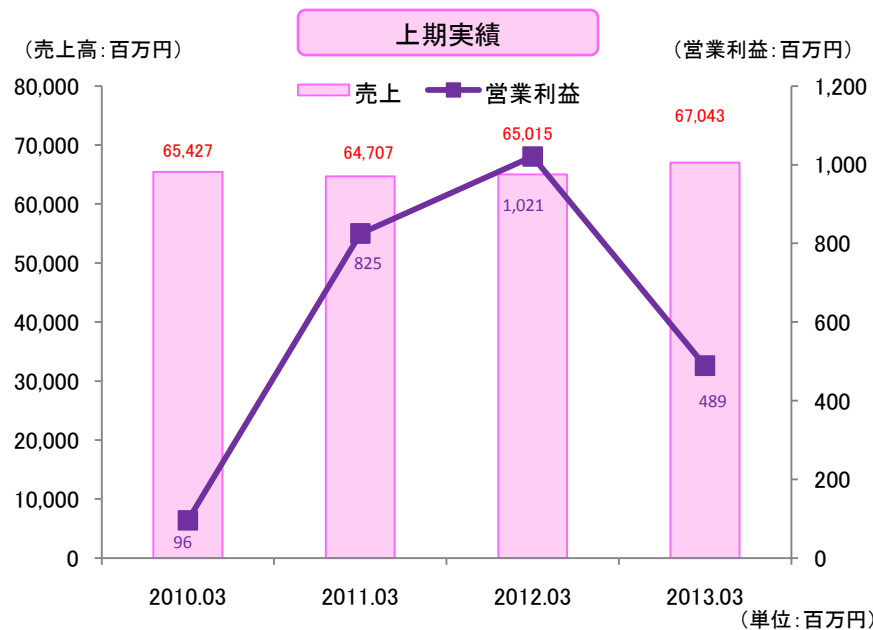
【第2四半期の状況】

(売上高)

- ・水産事業は、海老・サーモン等の重点商品の拡販により、増収。
- ・乳製品事業は、ドリンクヨーグルトがCVSチャネルにて大幅に伸長し、増収。

(営業利益)

- ・水産事業は、チリ産銀鮭の相場下落等により、利益が減少。
- ・チーズは原料価格が安定する中、生産性の向上により利益が拡大。



	2012.03 上期累計	2013.03 上期累計	前年差	前年比
売上高計	65,015	67,043	2,028	3.1
営業利益	1,021	489	△ 532	△ 52.1
営業利益率	1.6%	0.7%	-	-

【上期の状況】

(売上高)

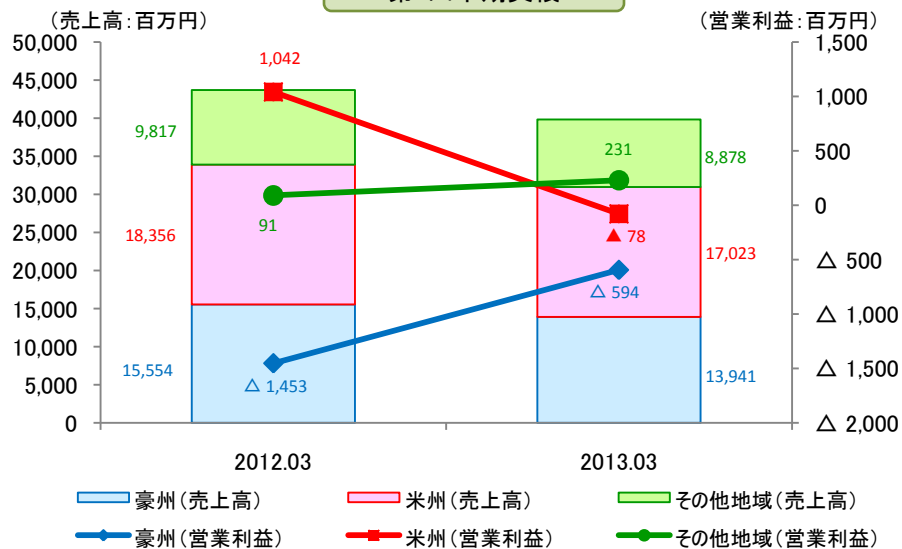
- ・水産事業は、マリンフーズにおいて、量販店チャネルへの営業活動を強化し、増収。
- ・乳製品は、ヨーグルト・乳酸菌飲料が新商品の寄与もあり、主要チャネルの全てにおいて増収。

(営業利益)

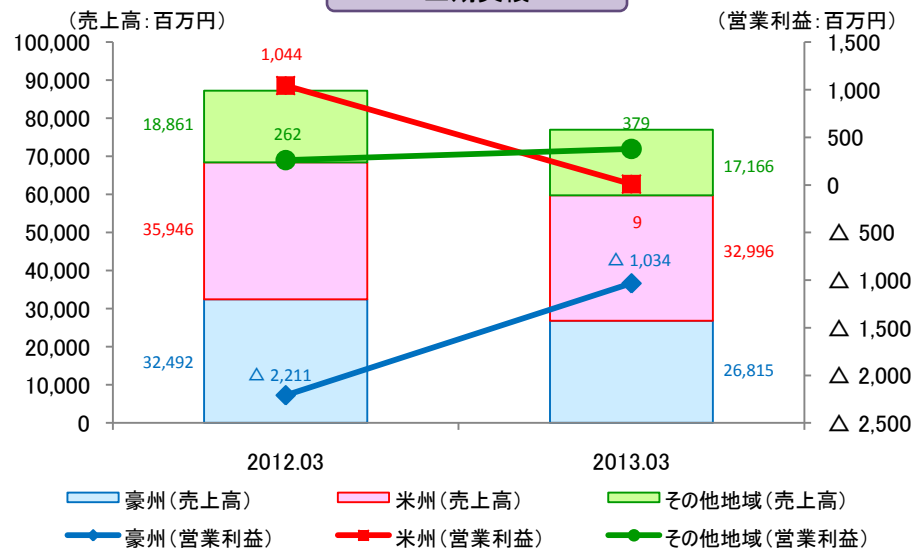
- ・水産事業は、一部魚種の相場大幅下落と、商品構成の変化により、利益率が低下。
- ・ヨーグルトは、売上数量の拡大に伴い利益率が向上し、増益。

6. 海外 主要所在地別業績実績

第2四半期実績



上期実績



		2012.03 2Q	2013.03 2Q	前年差	前年比
海外計	売上高	42,978	39,019	△ 3,959	△ 9.2
	営業利益	△ 305	△ 452	△ 147	-
豪州	売上高	15,554	13,941	△ 1,613	△ 10.4
	営業利益	△ 1,453	△ 594	859	-
米州	売上高	18,356	17,023	△ 1,333	△ 7.3
	営業利益	1,042	△ 78	△ 1,120	-
その他地域	売上高	9,817	8,878	△ 939	△ 9.6
	営業利益	91	231	140	153.8

		2012.03 上期累計	2013.03 上期累計	前年差	前年比
海外計	売上高	85,896	75,636	△ 10,260	△ 11.9
	営業利益	△ 894	△ 668	226	-
豪州	売上高	32,492	26,815	△ 5,677	△ 17.5
	営業利益	△ 2,211	△ 1,034	1,177	-
米州	売上高	35,946	32,996	△ 2,950	△ 8.2
	営業利益	1,044	9	△ 1,035	△ 99.1
その他地域	売上高	18,861	17,166	△ 1,695	△ 9.0
	営業利益	262	379	117	44.7

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

【第2四半期の状況】

(豪州)

- ・牛生体価格が下落し、収支改善。

(米州)

- ・干ばつによる飼料高により、養豚事業が影響を受け、減益。

(アジア)

- ・タイの洪水復旧に伴い2Q以降、増益。

【上期の状況】

(豪州)

- ・日本向け等の販売数量が落ち込んだが、生体価格高が落ち着き、収益改善。

(米州)

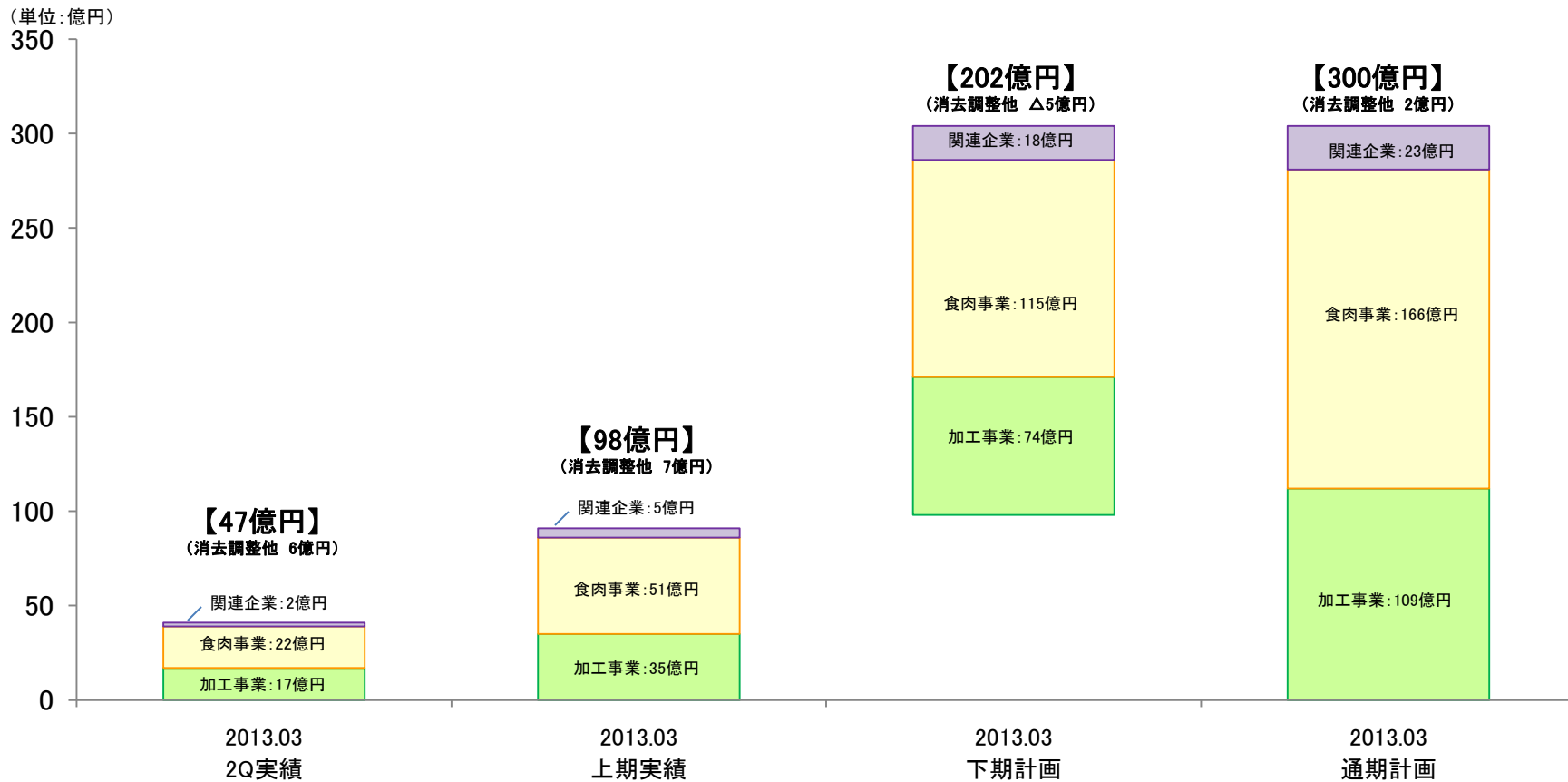
- ・1Qは堅調に推移したが、2Q以降は飼料高により、養豚事業が苦戦。

(アジア)

- ・タイの洪水影響が1Qで残り減益となったが、アジア全域では改善傾向。

Ⅱ. 2013年3月期の計画

1. 2013年3月期 営業利益計画
2. 2013年3月期計画(加工事業本部)
3. 2013年3月期計画(食肉事業本部)
4. 2013年3月期計画(関連企業本部)



	2013.03 2Q実績			2013.03 上期実績			2013.03 下期計画			2013.03 通期計画		
	2012.03 2Q実績		増減	2012.03 上期実績		増減	2012.03 下期実績		増減	2012.03 通期実績		増減
加工事業本部	13億円	17億円	4億円	24億円	35億円	11億円	56億円	74億円	18億円	80億円	109億円	29億円
食肉事業本部	37億円	22億円	△15億円	87億円	51億円	△36億円	75億円	115億円	40億円	162億円	166億円	4億円
関連企業本部	6億円	2億円	△4億円	10億円	5億円	△5億円	10億円	18億円	8億円	20億円	23億円	3億円
消去調整他	△2億円	6億円	8億円	△1億円	7億円	8億円	4億円	△5億円	△9億円	3億円	2億円	△1億円
合計	54億円	47億円	△7億円	120億円	98億円	△22億円	145億円	202億円	57億円	265億円	300億円	35億円

※四捨五入による、数値の和・差と合計が一致しない場合は、消去調整他で調整しています。

【第1Q時見直し計画との差異】

※上期及び通期計画については、第1四半期後に見直した計画となっています。

	2013.03 上期実績			2013.03 3Q 計画			2013.03 4Q 計画			2013.03 通期計画		
	1Q時 計画		計画差	1Q時 計画		計画差	1Q時 計画		計画差	1Q時 計画		計画差
加工事業本部	41億円	35億円	△6億円	65億円	70億円	5億円	△3億円	4億円	7億円	103億円	109億円	6億円
食肉事業本部	65億円	51億円	△14億円	75億円	83億円	8億円	27億円	32億円	5億円	167億円	166億円	△1億円
関連企業本部	9億円	5億円	△4億円	15億円	15億円	0億円	△1億円	3億円	4億円	23億円	23億円	0億円
消去調整他	5億円	7億円	2億円	0億円	△4億円	△4億円	2億円	△1億円	△3億円	7億円	2億円	△5億円
合計	120億円	98億円	△22億円	155億円	164億円	9億円	25億円	38億円	13億円	300億円	300億円	0億円

※四捨五入による、数値の和・差と合計が一致しない場合は、消去調整他で調整しています。

【下期営業利益計画 増減要因分析】

【 加工事業 】	第1Q時見直し計画との差異					
	3Q		4Q		通期	
	計画	計画差	計画	計画差	計画	計画差
コスト改善効果	6億円	9億円	2億円	5億円	20億円	15億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	1億円	0億円	1億円	1億円	8億円	1億円
主原料・副資材要因						
(内訳)主原料価格	0億円	△2億円	△2億円	△2億円	2億円	△5億円
(内訳)副資材・燃料等	△3億円	△1億円	△2億円	1億円	△18億円	△2億円
売上数量増	5億円	3億円	1億円	0億円	3億円	△1億円
タイ洪水影響	3億円	△1億円	3億円	△1億円	3億円	△2億円
その他	0億円	△3億円	3億円	3億円	11億円	0億円
合計	12億円	5億円	6億円	7億円	29億円	6億円

【 食肉事業 】	第1Q時見直し計画との差異					
	3Q		4Q		通期	
	計画	計画差	計画	計画差	計画	計画差
海外事業の変動(豪州、米州)	0億円	△2億円	8億円	6億円	11億円	△2億円
フード事業の伸長	0億円	2億円	1億円	0億円	0億円	2億円
輸入食肉市況	17億円	12億円	16億円	4億円	31億円	17億円
国内ファーム事業の変動	△5億円	△8億円	4億円	△10億円	△29億円	△23億円
国内食肉市況	△5億円	0億円	△4億円	0億円	△21億円	△7億円
その他	4億円	4億円	4億円	5億円	12億円	12億円
合計	11億円	8億円	29億円	5億円	4億円	△1億円

●ギフト売上拡大施策

- ・中元ギフト実績は、2,026千個(前年比101%、個数ベース)。
- ・旗艦ブランド『美ノ国』実績は31.5万個(前年比129%、個数ベース)。
- ・歳暮ギフトは4,940千個(前年比103%、個数ベース)の目標。
- ・旗艦ブランド『美ノ国』は65万個(前年比120%、個数ベース)の目標。

【(参考)ギフト販売個数 実績と2013年3月期販売計画】

(単位:千個)

	2012.03 実績		2013.03 実績と計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,003	102%	2,026	101%
歳暮ギフト販売個数	4,799	98%	4,940	103%

●主要ブランド・新商品売上拡大施策

- ・ファイターズセール、歳暮ギフト等を拡大し、収益改善を図る。
- ・量販店チャネルの強化と、新規チャネルの攻略で重点商品の数量拡大を図る。

【(参考) 2013年3月期上期 主要ブランド商品売上高伸び率(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2013.03 上期実績	加工食品	2013.03 上期実績
シャウエッセン	103%	石窯工房群	100%
森の薫り新あらびきウインナー	87%	中華名菜群	96%
彩りキッチン(ロース)	96%	プリフライ群	92%
ロースハム群	94%	ハンバーグ・ミートボール群	121%
ベーコン群	106%	カレー群	114%

●チャネル別売上拡大施策

①コンシューマ

- ・売上拡大を図るため、ブランド力の強化と重点商品を中心に販促を投入していく。

②業務用

- ・タイ日本フーズの商品拡販と、大手外食チェーンへの攻略を図る。

【(参考)2013年3月期上期 チャネル別伸び率(対前年同期比)】

		数量	金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	103%	102%
	業務用	102%	103%
	合計	102%	102%
加工食品	コンシューマ	100%	100%
	業務用	93%	91%
	合計	96%	95%

●国内生産事業

①飼料価格

・10月～12月の配合飼料価格の上昇は、補てん基金発動により、生産への影響なし。1月以降は価格上昇の見通し。

②国内ファーム事業

【養豚】

・豚肉相場は出荷頭数が増加しており、安値で推移する見通し。生産コスト低減効果で採算改善を図る。

【養鶏】

・供給量は増加しているが、季節要因もあり相場は回復基調。生産性の改善等によりコスト低減を図る。

●海外事業

①豪州事業の改革

・引き続き生産性向上、経費削減等を進め、原価低減による利益率の改善を図る。

・豪州牛肉(ショートフェッド)の日本向け新商品(ワイアリーフ)の立ち上げによる販売拡大(9月度:約90トンの販売実績)

併せて豪州国内及びアジアへの販売強化と新チャネルの開拓を進める。

②米州事業

・飼料価格の高騰もあり、今期養豚事業は厳しい状況。

●食肉販売(フード会社)

・国内3畜種(牛・豚・鶏)を中心に拡販を図り、数量拡大を目指す。

(上期累計の数量実績:前年比104%、食肉本体を含めたトータルでは106%)

●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・商品開発力強化と国内自社工場製品の拡販。
- ・エビ、サーモン等重点商品の拡販による収益拡大。
- ・年末商戦の取組強化。

(宝幸)

- ・外食、量販店等の得意先との取引拡大。
- ・常温食品事業(缶詰)は、生産能力を増強する八戸工場製品の拡販を強化。

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2013.03 上期実績
自社工場製品	4,293 ^ト
対前年比	92%

【(参考) マリンフーズ(株) チャンネル別売上金額伸び率】

	対前年比
	2013.03 上期実績
量販店チャンネル	106%
外食チャンネル	96%

●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・製パン、外食向け等、主力チャンネルへの提案営業強化による販売数量拡大。
- ・季節やイベントを捉えた商品提案によるコンシューマ商品の拡販。

(ヨーグルト)

- ・新商品の開発、導入と定番化。
- ・量販店・CVSチャンネルにおけるPB商品の開発強化とドリンクヨーグルトのさらなる拡販。
- ・主力のバニラヨーグルト商品群を中心とした量販店チャンネル、生協チャンネルの攻略を継続。

【(参考) 乳製品売上高伸び率】

	対前年比
	2013.03 上期実績
チーズ	99%
ヨーグルト	126%

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、南半球の産地国の生産が順調であり、価格は安定的。
- ・ヨーグルト原料の粉乳については、国産は需給状況が厳しいことから、価格は高値で推移。輸入品は安定的に推移。

Ⅲ. 2013年3月期 第2四半期財務データ

1. 2013年3月期第2四半期連結業績概要及び通期計画
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円、%)

	2012年3月期実績				2013年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	前年比	下期 累計実績	通期 累計実績	上期 累計実績	前年比	下期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	506,367	4.8	511,417	1,017,784	496,691	△ 1.9	543,309	6.2	1,040,000	2.2
ハム・ソーセージ	65,628	1.5	71,658	137,286	67,301	2.5	75,199	4.9	142,500	3.8
加工食品	99,980	2.6	103,187	203,167	100,451	0.5	107,549	4.2	208,000	2.4
食肉	277,107	6.7	266,947	544,054	263,175	△ 5.0	287,325	7.6	550,500	1.2
牛肉	101,883	9.1	95,611	197,494	99,101	△ 2.7	101,899	6.6	201,000	1.8
豚肉	101,123	3.9	100,440	201,563	98,726	△ 2.4	105,274	4.8	204,000	1.2
鶏肉	62,009	9.2	60,864	122,873	55,664	△ 10.2	67,336	10.6	123,000	0.1
その他食肉	12,092	△ 0.6	10,032	22,124	9,684	△ 19.9	12,816	27.8	22,500	1.7
水産	39,135	0.4	43,701	82,836	40,192	2.7	45,808	4.8	86,000	3.8
乳製品	11,343	3.7	11,918	23,261	12,769	12.6	12,731	6.8	25,500	9.6
その他	13,174	15.4	14,006	27,180	12,803	△ 2.8	14,697	4.9	27,500	1.2
売上原価	411,093	6.3	411,129	822,222	404,573	△ 1.6				
売上総利益	95,274	△ 1.1	100,288	195,562	92,118	△ 3.3				
売上総利益率	18.8%	-	19.6%	19.2%	18.5%	-				
販売費及び一般管理費	83,272	△ 0.2	85,777	169,049	82,279	△ 1.2				
営業利益	12,002	△ 7.1	14,511	26,513	9,839	△ 18.0	20,161	38.9	30,000	13.2
税引前利益	9,577	△ 15.7	17,189	26,766	7,946	△ 17.0	17,554	2.1	25,500	△ 4.7
当社株主帰属当期純利益	4,799	△ 29.2	6,856	11,655	3,881	△ 19.1	9,619	40.3	13,500	15.8

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2012年3月期 (対前年同期比)				2013年3月期 (対前年同期比)			
	第2四半期		上期累計		第2四半期		上期累計	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	2.3	1.6	1.7	1.5	3.7	3.1	3.9	2.5
加工食品	1.5	2.6	2.4	2.6	0.2	1.3	△ 0.1	0.5
食肉	5.5	6.0	3.0	6.7	0.5	△ 3.3	1.1	△ 5.0
牛肉	11.7	4.6	11.8	9.1	△ 7.9	2.7	△ 9.7	△ 2.7
豚肉	4.0	4.3	2.2	3.9	1.0	△ 2.5	1.9	△ 2.4
鶏肉	3.7	13.3	△ 2.5	9.2	8.0	△ 10.8	10.7	△ 10.2
その他食肉	△ 5.2	△ 3.5	△ 2.4	△ 0.6	△ 8.2	△ 19.7	△ 9.0	△ 19.9

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期実績			2013年3月期実績及び計画					
	上期 累計実績	下期 累計実績	通期 累計実績	上期 実績	前年比	下期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
国内売上高	464,720	474,804	939,524	461,110	△ 0.8	498,890	5.1	960,000	2.2
外部顧客売上高	464,279	474,567	938,846	460,777	△ 0.8	498,223	5.0	959,000	2.1
セグメント間内部売上高	441	237	678	333	△ 24.5	667	181.4	1,000	47.5
国内営業利益	12,746	14,658	27,404	10,824	△ 15.1	19,176	30.8	30,000	9.5
国内売上高営業利益率	2.7%	3.1%	2.9%	2.3%	-	3.8%	-	3.1%	-
海外売上高	85,896	71,825	157,721	75,636	△ 11.9	85,364	18.8	161,000	2.1
外部顧客売上高	42,088	36,850	78,938	35,914	△ 14.7	45,086	22.4	81,000	2.6
セグメント間内部売上高	43,808	34,975	78,783	39,722	△ 9.3	40,278	15.2	80,000	1.5
海外営業利益	△ 894	△ 503	△ 1,397	△ 668	-	668	-	0	-
海外売上高営業利益率	△ 1.0%	△ 0.7%	△ 0.9%	△ 0.9%	-	0.8%	-	0.0%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 上期実績	上期実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
販売費及び一般管理費	83,272	82,279	△ 1.2	△ 993
人件費	33,078	32,403	△ 2.0	△ 675
広告宣伝費	5,209	5,146	△ 1.2	△ 63
★② 物流費	19,127	19,848	3.8	721
その他	25,858	24,882	△ 3.8	△ 976

主な増減要因

★① 販管費

全体では約10億円減少したが、売上高減に伴い、売上高販管比率は 16.4% から 16.6% へ 0.2ポイント上昇

★② 物流費

物流費のうち冷蔵費は3億円増加、運賃は約4億円増加

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 上期累計実績	上期累計実績	2013年3月期	
			対前年増減率	対前年増減額
その他の営業費用及び(△収益)-純額	254	723	184.6	469
固定資産減損損失	820	476	△ 42.0	△ 344
特別退職金	15	53	253.3	38
その他	△ 581	194	-	775
★① その他の収益及び(△費用)-純額	△ 1,215	△ 404	-	811
受取利息・配当金	453	522	15.2	69
有価証券評価損・売却損益	△ 97	△ 77	-	20
為替差損益	△ 1,553	△ 834	-	719
その他	△ 18	△ 15	-	3
支払利息	956	766	△ 19.9	△ 190

主な増減要因

★① その他の収益(△費用)-純額

為替差損は、約7億円の減少

4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2012 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》		2012年3月期 期末実績	2013年3月期 第2四半期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	589,125	609,014	3.4	19,889
	現金及び現金同等物	63,651	32,610	△ 48.8	△ 31,041
★②	売上債権	119,959	124,067	3.4	4,108
★③	棚卸資産	112,516	121,822	8.3	9,306
	有形固定資産	213,663	215,028	0.6	1,365
	投資及びその他の資産	28,889	27,296	△ 5.5	△ 1,593
	長期繰延税金資産	13,368	14,175	6.0	807
	負債合計	296,857	318,110	7.2	21,253
	支払手形及び買掛金	96,822	98,792	2.0	1,970
★④	有利子負債	139,187	157,944	13.5	18,757
	退職金及び年金債務	17,170	16,576	△ 3.5	△ 594
	当社株主資本	290,020	288,618	△ 0.5	△ 1,402
	非支配持分	2,248	2,286	1.7	38
	資本合計	292,268	290,904	△ 0.5	△ 1,364

主な増減要因

- ★① 資産合計
- ★② 売上債権
- ★③ 棚卸資産
- ★④ 有利子負債

②③の要因にて約199億円の増加
 第2四半期(7月～9月)の売上高増加により約41億円増加
 主に食肉在庫の増加により約93億円の増加
 普通社債の発行等より約188億円の増加

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2012年3月期 第2四半期実績	2013年3月期 第2四半期実績	対前年増減率	対前年増減額	2013年3月期 通期計画
	設備投資額	7,177	12,181	69.7	5,004
生産設備	3,537	4,704	33.0	1,167	12,600
販売・物流設備	1,015	1,695	67.0	680	12,700
ファーム・処理設備	1,373	3,199	133.0	1,826	8,100
海外事業設備	580	1,245	114.7	665	4,800
その他設備	672	1,338	99.1	666	4,800
減価償却費	11,666	9,420	△ 19.3	△ 2,246	22,000

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2012年3月期	2013年3月期	
	上期実績	上期実績	対前年増減額
★① 営業活動キャッシュ・フロー	5,177	1,785	△ 3,392
投資活動キャッシュ・フロー	12,803	△ 48,542	△ 61,345
財務活動キャッシュ・フロー	△ 9,733	15,981	25,714

主な増減要因

★① 営業キャッシュ・フローの主な内訳	2012年3月期	2013年3月期
	上期実績	上期実績
売上債権の増	△1,741	△4,159
棚卸資産の増	△12,851	△9,925

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。

また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。

従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。

また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。